

中南米日系農業者等との連携交流・ビジネス創出事業（新規） 【60（0）百万円】

対策のポイント

中南米4カ国の日系農業者等の若手世代の育成や日本の地方企業との農業ビジネス創出により、日本と中南米の農業・食産業分野の連携・交流の強化や、我が国の食産業の中南米進出等への貢献を図ります。

<背景／課題>

- ・近年、日系社会の世代交代により日系人のアイデンティティが薄れ、その連帯が低下することによる我が国との交流の希薄化が懸念される一方、若い世代からは、日本の先進的産業に関心が寄せられています。
- ・中南米4カ国（ブラジル、パラグアイ、ボリビア及びアルゼンチン）と日本との間では、移住事業のフォローアップを通じ農業交流関係が構築されてきましたが、我が国の食産業の海外展開等を推進する上で、今後ともその関係の強化を図っていく必要があります。

政策目標

- 研修修了者の8割以上が、5年以内に日系農業関係者のリーダー又はリーダー候補生となる。
- セミナーやビジネスマッチングに参加した研修修了者や中南米の企業から5者（社）以上が、事業終了後5年以内に日本の地方企業のパートナーとなる。

<主な内容>

1. 中南米の日系農業者等との連携交流 11（0）百万円
中南米4カ国（ブラジル、パラグアイ、ボリビア及びアルゼンチン）の日系農業者団体や日系農業者等を対象に、参加者間の情報交換等を行う連携強化のための会議や、若い世代の交流促進のための会議を開催します。
2. 次世代リーダーとなる若手農業者等の育成 35（0）百万円
次世代リーダーとなる若手農業者や日系農業者団体女性部等を日本に招へいし、農産物の高付加価値化、食品製造等の座学と実習による研修を行うとともに、農業・食産業分野に係る専門家を中南米4カ国に派遣し、栽培や加工等の技術研修を実施します。
3. 日本の地方企業とのビジネス創出 14（0）百万円
中南米の県人会と繋がり深い都道府県を対象に、中南米とのビジネス創出が有望な地方の企業を調査・発掘し、日系農業者等とのビジネスマッチングを行うとともに中南米4カ国において開催するビジネスセミナーに派遣します。

委託費
委託先：民間団体等
事業実施期間：平成30年度～平成34年度

（お問い合わせ先：
大臣官房海外投資・協力グループ（03-3502-5914））

中南米日系農業者等との連携交流・ビジネス創出事業

背景・現状・課題

- 中南米の日系人は210万人以上と推定。近年、現地の日系社会は世代交代が進み、日系人のアイデンティティが薄れ、我が国との交流の希薄化が懸念される一方、若い世代は日本の先進的産業に関心。
- 当省は、中南米4カ国（ブラジル・パラグアイ・ボリビア・アルゼンチン）への農業移住事業のフォローアップとして、日系農業者団体間の連携強化、日系農業者と日本企業との交流や、現地での日本食普及の取組を実施。
- 平成26年の安倍総理の中南米歴訪を受けて、官邸に「中南米経済・文化交流促進会議」が設置。平成29年には官邸主導により、岸田外務大臣の下に「中南米日系社会との連携に関する有識者懇談会」が設置され、日系社会の世代交代や活動の裾野の広がりを踏まえた関係の強化について提言。今後は若い世代の取り込みや、日本の地方企業の中南米進出など、より幅広く交流を進め、ビジネス創出につなげる必要。

事業内容

- 1 中南米の日系農業者等との連携交流
 - 日系農業者団体に加え、同団体に属さない日系農業者や日系の食産業関係者を交えた連携強化会議を開催し、組織間の連携を強化。
 - 連携強化会議に併せて、若手農業者等を対象にした交流会議を開催。
- 2 次世代リーダーとなる若手農業者等の育成
 - 若手農業者等や日系農協の女性農業者を対象に、日本に招へいして高付加価値化や6次産業化について座学と実習を通じた研修を実施。
 - 若手農業者等を対象に、日本人専門家を派遣して栽培技術や食品加工、日本食について研修を実施するとともに、日本や中南米における農業先進地の視察や食品加工工場等の視察を実施。
- 3 日本の地方企業とのビジネス創出
 - 中南米の県人会と繋がりの深い都道府県との連携の下、研修で招へいした若手農業者等と地方公共団体や企業とのマッチングや、地方企業の中南米への派遣によるビジネスセミナーの開催により、日本の地方企業と日系農業者等とのビジネス創出を促進。



連携強化会議



農産物加工施設の視察



野菜苗移植機の実演

日系の農業者・食産業関係者との連携の強化や我が国の食産業の中南米への進出、我が国の農林水産物・食品の輸出促進に貢献。